

経営比較分析表（平成30年度決算）

長野県地方独立行政法人長野市民病院 長野市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	33	対象	ド透I 剖ガ	救臨が地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	33,646	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
400	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	400
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
385	-	385

■ 当該病院値（当該値） — 類似病院平均値（平均値） 【】 平成30年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

西医・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成28年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- 24時間365日救急医療の提供、医師会と協働での夜間初期救急等
- がんや、心疾患・脳血管疾患・糖尿病等の生活習慣病を主体とした高度専門医療の提供
- 地域との連携による在宅復帰や在宅療養の支援
- 人口減少、少子・高齢化対策や中山間地域対策を踏まえた政策的医療の推進
- 健診事業を通じた予防医療の推進
- 近隣公的病院等への医師派遣等による診療支援
- 医療従事者、救急隊、学生の研修・実習受け入れ

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率：100%を超えており、単年度黒字を確保できている。
- ②医療収支比率：政策的医療の提供等により、医療収支で医療費用を賄っていないが、平均値を上回っており、類似病院と比べて健全性は高い。
- ③累積欠損比率：該当なし
- ④病床利用率：病床の高稼働を維持できており、類似病院と比べて病床を有効に活用できている。
- ⑤⑥入院患者・外来患者1人1日当たり収益：高度急性期医療の提供や病床の効率的利用等を反映し、類似病院と比べて収益性は高い。
- ⑦⑧職員給与と費・材料費対医療収益比率：平均値を下回っているが、統計上、分母の収益には運営費負担金（繰出金）等が含まれており、それらは高度医療や政策的医療を提供するためのスタッフ確保や高価材料購入等に係る経費補てんに充てられている。

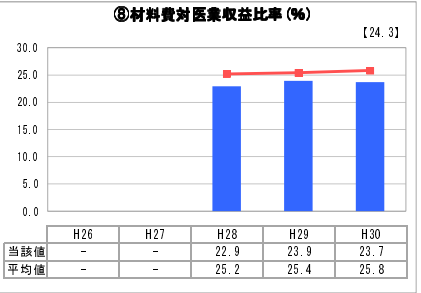
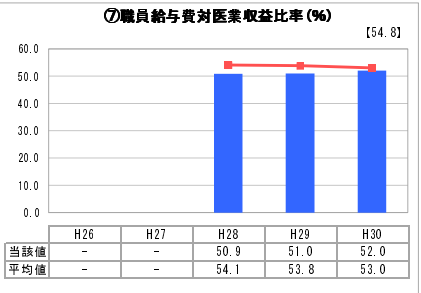
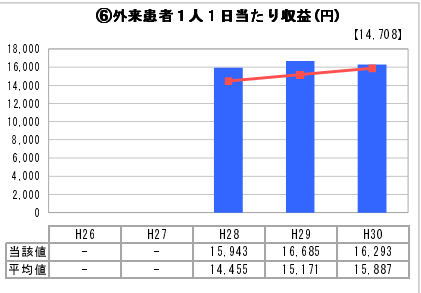
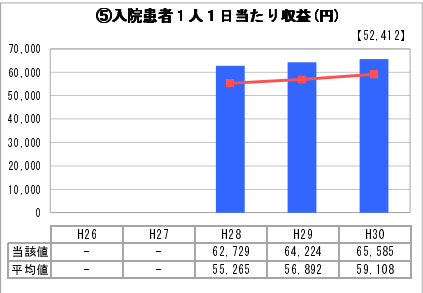
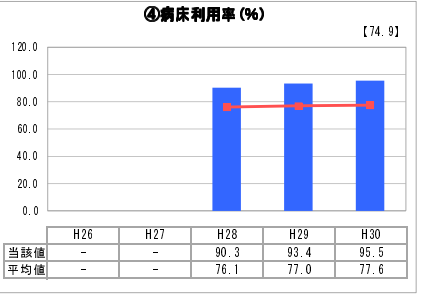
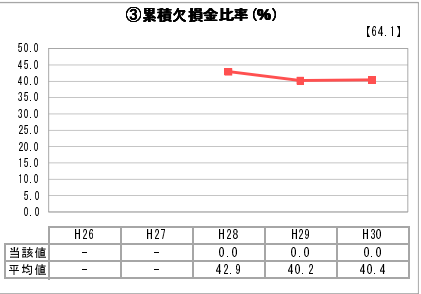
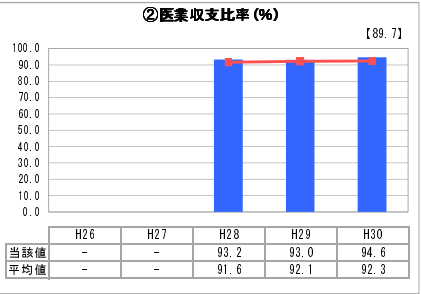
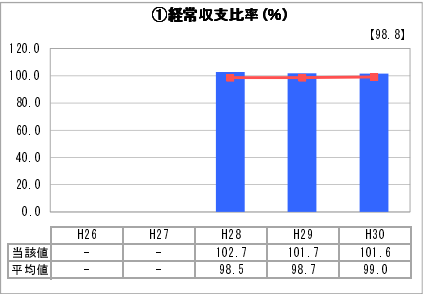
2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産については、地方独立行政法人設立時に時価評価した価額（償却後再評価価額）で長野市より継承している。平成28年度は、帳簿上では全員の償却資産について初めて減価償却が行われる形となり、老朽化の状況を正確に判断できない。参考までに、法人設立前の平成27年度決算での実績値は次のとおりである。
- ①有形固定資産減価償却率：60.9%
 - ②機械備品減価償却率：78.1%
 - ③1床当たり有形固定資産：27,724,763円
- 平成30年度末時点では、平成7年に長野市民病院として開院以来24年が経過している。平成27年度の実績値と平均値を比較した場合、①、②は平均値を上回り、③は下回っていることを見れば老朽化が進行していることが明らかであり、今後は適切に維持管理・更新を行っていく必要がある。

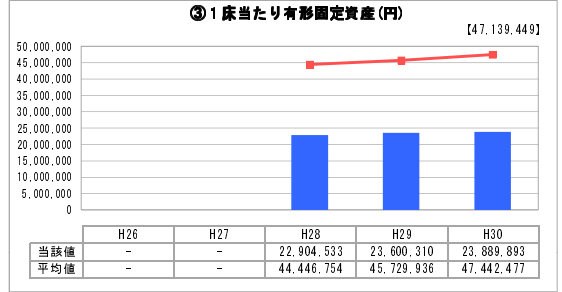
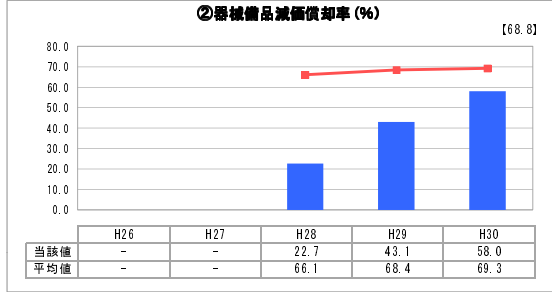
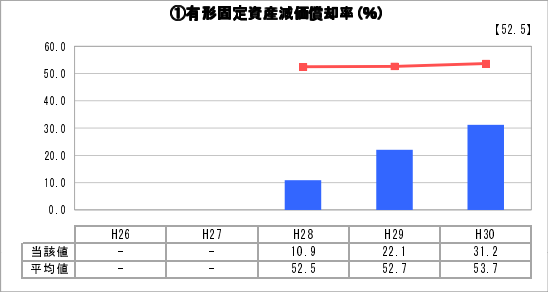
全体総括

- 前年度に比べて新入院患者数が259人増加（前年比102.4%）し、延入院患者数が3,161人増加（前年比102.3%）した。また、重症病棟の稼働向上や診療報酬改定により入院料や手術料等が増加した。これらにより入院収益が393百万円増加し、3年連続で黒字を確保することができ、第1期中期目標期間（平成28年度～平成30年度）の収支差額は黒字となった。
- 今後とも、地域の核病院として安全・安心な医療を提供するため、紹介患者や救急患者の円滑な受け入れや病床の効率的利用等により収益確保を図るとともに、予算の弾力の執行等により費用節減を図り、収支バランスの更なる適正化に努める。
- また、施設設備及び医療機器については、地域医療構想や患者ニーズ等も踏まえ、老朽化や稼働低下等に対応するため中期的な視点に立って整備計画を策定し、効率的に維持管理・更新を実施する。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。